

令和元年度

歳入歳出決算補充説明

人 事 委 員 会

人事委員会関係の令和元年度歳入歳出決算の概要について、ご説明申し上げます。

はじめに、歳入決算額についてご説明申し上げます。

まず、「令和元年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」124頁の第12款 繰入金、第2項 基金繰入金、第1目 基金繰入金のうち、人事委員会関係分については、予算現額、収入済額とも30万1千円であります。これは、財政調整基金繰入金を職員の人件費に充当したものであります。

134頁の第14款 諸収入、第5項 受託事業収入、第1目 総務関係受託事業収入の公平事務受託事業収入については、予算現額、収入済額とも1万2千円であります。

また、138頁の第8項 雑入、第2目 雑入のうち、人事委員会関係分については、予算現額6万3千円に対し、収入済額が6万3,568円であります。

以上、人事委員会関係分の歳入決算額の合計は、予算現額37万6千円に対し、収入済額が37万6,568円となります。

なお、収入未済はございません。

【歳入決算】

単位：円

款 項 目	予算現額	調定額	収入済額
12 繰入金			
2 基金繰入金			
1 基金繰入金	301,000	301,000	301,000
14 諸収入			
5 受託事業収入			
1 総務関係受託事業収入	12,000	12,000	12,000
8 雑入			
2 雑入	63,000	63,568	63,568
合 計	376,000	376,568	376,568

続きまして、歳出決算額についてご説明申し上げます。

238頁の第2款 総務費、第9項 人事委員会費、第1目 人事委員会費については、予算現額1億1,958万円に対し、支出済額は1億1,783万9,109円、不用額は174万891円であります。

支出済額の内訳としましては、人事委員会の開催、事務局職員の人件費等事務局の運営に要した経費1億976万8,543円、給与関係調査に要した経費67万1,367円、各種競争試験等の実施に要した経費724万3,611円、公平審査関係及び労働基準監督業務に要した経費15万5,588円であります。

以上、簡単ではございますが、人事委員会関係の令和元年度歳入歳出決算の概要説明を終わります。

なにとぞ、よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。

【歳出決算】

単位：円

款 項 目	予算現額(A)	支出済額(B)	差引 (A-B)
2 総務費			
9 人事委員会費			
1 人事委員会費	119,580,000	117,839,109	1,740,891
合 計	119,580,000	117,839,109	1,740,891

令和元年度

歳入歳出決算補充説明

監査委員事務局

令和元年度歳入歳出決算のうち、監査委員事務局関係につきまして、その概要をご説明申し上げます。

はじめに、歳入決算額についてご説明申し上げます。

まず、「令和元年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」の124頁の第12款 繰入金、第2項 基金繰入金、第1目 基金繰入金のうち、監査委員事務局関係分については、予算現額、収入済額とも67万9千円です。これは、財政調整基金繰入金を職員の人件費に充当したものです。

次に、138頁の第14款 諸収入、第8項 雑入、第2目 雑入のうち、監査委員事務局関係分については、予算現額1万円に対し、収入済額が1万1,386円です。

以上、監査委員事務局関係分の歳入決算額の合計は、予算現額68万9千円に対し、収入済額が69万386円となります。

なお、収入未済はございません。

【歳入決算】

単位：円

款 項 目	予算現額	調定額	収入済額
12 繰入金			
2 基金繰入金			
1 基金繰入金	679,000	679,000	679,000
14 諸収入			
8 雑入			
2 雑入	10,000	11,386	11,386
合 計	689,000	690,386	690,386

続きまして、歳出決算額についてご説明申し上げます。

240頁から243頁になります。

第2款 総務費、第10項 監査委員費、第1目 監査委員費のうち、監査委員事務局関係分については、予算現額2億2,393万6千円に対し、支出済額は2億2,280万9,356円、不用額は112万6,644円です。

支出済額の内訳は、監査委員や事務局職員の人件費、監査業務に要した旅費等の事務費です。

主な事業内容としては、定期監査（359箇所）及び財政的援助団体等監査（25団体）を行いました。

また、一般会計、特別会計及び公営企業会計の決算審査並びに健全化判断比率及び資金不足比率についての審査を行いました。

以上をもちまして、監査委員事務局関係の令和元年度歳入歳出決算の概要説明とさせていただきます。

なにとぞ、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

【歳出決算】

単位：円

款 項 目	予算現額 (A)	支出済額 (B)	差引 (A-B)
2 総務費			
10 監査委員費			
1 監査委員費	223,936,000	222,809,356	1,126,644
合 計	223,936,000	222,809,356	1,126,644

令和元年度

歳入歳出決算補充説明

出 納 局

であります。

128 頁の第 14 款「諸収入」第 2 項「県預金利子」第 1 目「県預金利子」のうち、出納局関係は、

予算現額	507 万 3,000 円
調定額、収入済額	508 万 2,998 円

となっております。これは、歳計現金の運用益を出納局の事務費に充当したものであります。

また、138 頁の第 8 項「雑入」第 1 目「小切手未払資金組入」であります。

予算現額	3,778 万 2,000 円
調定額、収入済額	3,977 万 1,530 円

となっております。これは、自動車税の還付金等で小切手等を振出して一年を経過したものを歳入として組入したものであります。

また、同じく 138 頁の第 2 目「雑入」のうち、出納局関係は、

予算現額	901 万 8,000 円
調定額、収入済額	1,250 万 1,997 円

となっております。これは主に電子調達システム（物件等）の利用にかかる企業庁及び病院事業庁の負担金であります。

146 頁の第 15 款「県債」第 1 項「県債」第 1 目「総務債」のうち、出納局関係は、

予算現額	2 億 3,900 万円
調定額、収入済額	2 億 3,900 万円

となっております。これは、財務会計システムの再構築等に要した経費に充当したものであります。

【出納局歳出決算概要】

(単位：円)

款 項 目	予算現額	支出済額
2 総務費		
1 総務管理費		
1 一般管理費	365,115,000	363,453,592
9 会計管理費	487,488,000	479,184,009
出納局関係分 計	852,603,000	842,637,601

次に、歳出についてご説明申し上げます。

174頁の第2款「総務費」第1項「総務管理費」第1目「一般管理費」のうち、出納局関係は、

予算現額	3億6,511万5,000円
支出済額	3億6,345万3,592円
不用額	166万1,408円

となっております。これは、出納局職員の人件費であります。

また、184頁の第9目「会計管理費」につきましては、

予算現額	4億8,748万8,000円
支出済額	4億7,918万4,009円
不用額	830万3,991円

となっております。支出済額の主なものは、財務会計システムの運用及び再構築に要した経費、電子調達システム（物件等）の運用及び再構築に要した経費、証紙販売手数料、会計事務の検査に要した経費等であります。

以上で歳入歳出決算の説明を終わり、引き続き財産の管理及び処分につきまして、その概要をご説明申し上げます。

地方自治法上、財産は公有財産、物品、債権及び基金の四種類に分類されており、このうち、出納局におきましては基金にかかる現金等を保管・運用しております。

606頁の次から掲げております「財産に関する調書」のうち、13頁から24頁に各基金の状況を記載しておりますが、総括して次表により説明いたします。

【34 基金の状況 総括表】

区分		前年度末現在高	決算年度中増減高	決算年度末現在高
不動産	土地	— m ²	— m ²	— m ²
	建物	— m ²	— m ²	— m ²
動 産		120,124 点	538 点	120,662 点
有 価 証 券		(24,215,339,639 円)	(2,516,295,004 円)	(26,731,634,643 円)
		24,215,339,639 円	2,516,295,004 円	26,731,634,643 円
現 金		(32,454,158,311 円)	(3,022,770,360 円)	(35,476,928,671 円)
		30,561,487,811 円	7,868,426,454 円	38,429,914,265 円
計		(56,669,497,950 円)	(5,539,065,364 円)	(62,208,563,314 円)
		54,776,827,450 円	10,384,721,458 円	65,161,548,908 円

注) () は、出納整理期間も含めた積立・取崩後の額。

令和元年度決算にかかる 34 基金を合わせた出納整理期間後の決算年度末現在高は、622 億 856 万 3,314 円で、前年度末現在高に比べ、55 億 3,906 万 5,364 円増加しております。

なお、基金については、確実かつ効率的に運用し、1 億 2,120 万 5,009 円の運用益がございました。

続きまして、令和元年度三重県歳入歳出決算審査意見書により、監査委員からご意見をいただきました事項に対する、出納局の取組をご説明申し上げます。

金品亡失（損傷）につきましては、各所属への依命通知や各種研修会において注意喚起するとともに、原則として県の損害額が 10 万円以上で、かつ職員の不注意の度合いが相当高いものについて、所属長への文書指導を行い、講じた措置について報告を求める等金品の管理意識の向上に努めています。

財産管理等につきましては、物品購入利活用書を活用した高額物品の適切な取得・管理、三年毎の悉皆調査による遊休物品の現状確認等、「みえ物品利活用方針」に基づく取組を進め、物品全般について適切な取得・管理・利活用・処分を図っています。

資金の運用につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響など資金の需給をより正確に把握するとともに、債券による短期運用・長期運用等の実施により、今後とも安全かつ効率的な資金運用を行ってまいります。

財務事務につきましては、会計規則等関係法規の順守徹底や事務処理ミスの削減に向けて、会計事務にかかる検査、相談、各種研修等を実施しています。

あわせて、会計事務担当者等に対し会計事務に関するチェックリストの活用を働きかけ、チェック機能の向上を図っています。さらに、少人数職場の会計事務初任者を対象としたハンドブックを初任者研修や出納検査等に活用し、会計事務職員の能力向上を支援しています。また、会計事務にかかる検査においては、令和2年度から導入された内部統制制度を踏まえた指導や評価を行っていくことにより、会計事務の適正化に努めてまいります。

以上をもちまして、令和元年度決算並びに財産についての説明を終わります。
なにとぞ、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年度

歳入歳出決算補充説明

議会事務局

令和元年度三重県一般会計歳入歳出決算の議会事務局関係について、その概要をご説明申し上げます。

【議会事務局歳入決算概要】

(単位：円)

款 項 目	予算現額	調定額	収入済額
12 繰入金			
2 基金繰入金			
1 基金繰入金	4,061,000	4,061,000	4,061,000
14 諸収入			
8 雑入			
2 雑入	19,520,000	19,544,462	19,544,462
合 計	23,581,000	23,605,462	23,605,462

まず、歳入についてご説明申し上げます。

お手元の「令和元年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」124頁をご覧ください。

第12款「繰入金」第2項「基金繰入金」第1目「基金繰入金」のうち、議会事務局関係分は、

予算現額 406万1,000円
 調定額 406万1,000円
 収入済額 406万1,000円

となっております。これは、議員及び事務局職員の期末手当等に充当した財政調整基金繰入金であります。

次に、138頁の第14款「諸収入」第8項「雑入」第2目「雑入」のうち、議会事務局関係分は、

予算現額 1,952万円
 調定額 1,954万4,462円
 収入済額 1,954万4,462円

となっております。収入済額のうち主なものは、平成30年度に交付した政務活動費のうち、実績額との差額を返還いただいたものであります。

【議会事務局歳出決算概要】

(単位：円)

款 項 目	予算現額	支出済額	不用額
1 議会費			
1 議会費			
1 議会費	1,425,861,000	1,415,965,065	9,895,935
合 計	1,425,861,000	1,415,965,065	9,895,935

次に、歳出について申し上げます。

170頁の第1款「議会費」第1項「議会費」第1目「議会費」は、

 予算現額 14億2,586万1,000円

 支出済額 14億1,596万5,065円

 不用額 989万5,935円

となっております。

支出済額の内訳は、

 議員報酬等に要した経費 7億3,067万5,182円

 議会運営に要した経費 3億4,641万6,130円

 事務局職員の人件費に要した経費 3億3,887万3,753円

であります。

以上をもちまして、議会事務局関係の令和元年度三重県一般会計歳入歳出決算の概要説明を終わらせていただきます。

なにとぞ、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。